

令和8年6月4日

智頭町議会議長 安道 泰治 様

智頭町議会議員 安道 泰治

岡田 光弘

議員派遣結果報告書

令和8年5月1日に決定された議員派遣について、下記のとおり報告します。

記

1. 派遣名

- (1) 令和8年度町村議会議長・副議長研修会
- (2) 鳥取県町村議会議長・副議長研修会

2. 目的

議会の重責を担う議長及び副議長を対象に開催される研修会に参加することにより、住民の代表機関として町村議会が果たすべき役割の重要性や課題を再認識し、議会・議員活動の一層の活性化に資する。

3. 派遣場所

- (1) 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号 「東京国際フォーラム」
- (2) 東京都千代田区永田町1-11-35 「全国町村会館」

4. 期 日 令和8年5月27日(水)、28日(木)

5. 内容等

- (1) 令和8年度町村議会議長・副議長研修会
 - ①「地方創生の先行きー地域未来戦略とともにー」
一般財団法人地域活性化センター理事長 林崎 理 氏
 - ②「人口減少社会における外国人材の確保・育成の実践」
東海大学教養学部人間環境学科教授 万城目 正雄 氏

③「男女共同参画で地域を元気に～人口減少社会を生き抜く方策～」

京都女子大学学長 竹安 栄子 氏

④「女性模擬議会の取組～町政施行69年の空白を経て、女性議員の誕生
・新しい風が吹く町へ～」

モデレーター：京都女子大学学長 竹安 栄子 氏

登壇者：宮城県蔵王町議会議員 藤澤 麻衣子 氏

今 千佳 氏

伊藤 雅代 氏

(2) 鳥取県町村議会議長・副議長研修会

「令和8年度の地方財政の姿について」

総務省自治財政局地方債課 課長補佐 眞木 伸浩 氏

6. 所感等

(1) 令和8年度町村議会議長・副議長研修会

① 今後将来の日本の未来を考える時、地域活性化から地方創生へ繋がる動きが加速しないと持続可能性が失われるという認識を強くした。

全国で展開された好事例を横展開して、標準化する動きが今後求められると感じた。

一般的に東京の一極集中と地方の空洞化と言われる今日、可処分所得については鳥取県は高い方で、地域の豊かさを考える場合、一人ひとりに目を向けるときに、自然環境の豊かさや、時間的な豊かさと共に、経済的な豊かさを見直す指標でもあると再認識した。

② 昨今、様々な分野での人手不足と相まって、外国人労働者と地域住民の間のトラブル等について報じられているが、鳥取県においては、全国的に見てもまだまだ割合は低い状況である。

今後、持続可能な地域を創造していく動きの中で、国の動向も見ながら、本町でのふさわしいあり方や共生していく社会づくりを今後も模索していく必要があると感じた。

③ 人口減少対策に各自治体が力を入れる中で、転出の要因の一つに固定的な性別役割分担意識があるという内容の報告があった。男性女性に関わらず、それぞれの人が性差に関わらず正當に評価されるような社会づくり、仕組みづくりに今後とも努力していく必要があると感じた。

今後、議員のなり手不足が全国的な課題となる中で、多様な人材が、議会活動を通じて活躍できる議会になるように引き続き努力していきたい。

④ 宮城県蔵王町の女性議会議員3名が登壇され、それぞれの体験談も踏まえて、今日に至るまでの経過と現状に感じておられることを伺った。

女性議員ゼロへの問題意識から、模擬議会を開催することを通じて、初の女性議員誕生へと繋がったとのこと、問題意識の持ち方とそれに続くワンステップが重要と感じた。

またそのことを通じて、議会の議論が深化したとの報告がなされた。言論の府である議会の機能を多方面の視点からより深めるためにも、この問題意識は今後とも共有していきたいと感じた。

(2) 鳥取県町村議会議長会議長・副議長研修会

日本全体での人口減少と東京の一極集中が議論される中で、現在地方が置かれている財政状況について、様々な指標を用いながら解説いただいた。

今の暮らしや未来への不安を希望に変え、強い経済を作る方針の中で様々な取り組みや事業が展開されているが、その中で地域間競争も激しくなっている状況も踏まえ、本町として、何に重点を置いて、特色ある、持続可能な地域づくりを展開していくのか、今後次期総合計画も踏まえてより戦略的な取り組みを行っていく必要があると感じた。

また、住民の安心安全に繋がるものとして、防災減災に関わる事業は今後とも、保健福祉医療の充実や教育の充実などと合わせて、住民ニーズと関心の高いテーマであると感じた。